



## 『目標に向かって地道な努力を!!』

阿瀧濱 健一 校長

厳しかった冬の寒さもようやく和らぎ、春を感じる季節になってきました。そして平成26年度も終わりましたが、みなさんにとってはどのような1年だったでしょうか？

2年生にとっては、勉強も部活動も高校生活の中で一番充実している毎日だったことでしょう。これから3年生に進級し、自分の進路すなわち生き方を決めていかなければなりません。精一杯努力し、悔いのないように慎重に決めてください。

1年生は高校へ入学し、ようやく高校生活に慣れてきたところでしょう。2年生へ進級し、これから蒲生高校の中心となって動いてくれることを期待しています。

登山家・冒険家で1984年2月アラスカ州マッキンリー冬季単独登頂(6168m)に成功し、そのまま行方不明になった植村直己さんは、「過去ばかりあれこれ思い出して、センチメンタルになっているわけにはいかない。自分は現在に、未来に生きていかなければならないのだ。」と述べています。私たちも、過去は振り返らず前を向いて自分の目標を実現するように努力する人間でありたいものです。



(2月下旬・管理棟外壁工事完了!!)

# 蒲生高校だより



## 〈1学年〉～職場体験学習～

2月24日(火)～26日(木)の3日間、始良市を中心に32事業所のご協力を頂き、1学年の職場体験学習を実施いたしました。それぞれ仕事内容は異なりますが、挨拶・言葉づかいなどのビジネスマナーや働くことの意義など、多くの事を学びました。

ご協力いただきました事業所の皆様、有難うございました。今後の進路に生かしていきたいと思っております。



## 同窓会入会式

創立109周年の歴史を有する本校の平成26年度同窓会入会式が、2月27日(金)に実施されました。本校の卒業生の数は、今年度で15,334名となりました。

会の中で池田健志同窓会会長は、「**社会生活を送る上で最も大切なのは健康であること**」と話し、健康という基礎があって初めて社会での活躍があるのだというメッセージを新入会員に話し、卒業生を代表し吉村友希さんが、「**感謝の気持ちを常に忘れず、社会で活躍したい**」との決意を先輩方に向けて話しました。緊張感のある素晴らしい式典でした。

## 第67回 卒業式

今年度の卒業式は、3月2日(月)に挙行され、80名の生徒たちが本校を巣立っていきました。

式の中で阿瀧濱健一校長は、卒業生の3年間の学校生活を振り返りながら、メッセージとして「**思いやりの心・感謝の気持ち**」を忘れずに**社会生活を過ごすこと**、「**今**」という時間を**目的を持って生きることの大切さ**を話されました。

在校生を代表して、普通科2年の田中彩莉さんが、卒業生との思い出や先輩方から学んだこと、感謝の気持ち、そして先輩方から引き継いで蒲生高校生として頑張っていく決意を送辞として述べました。

卒業生を代表して答辞を担当したのは、元生徒会長の山下拓海君で、3年間の学校行事などの思い出に触れ、次いで家族への感謝や後輩たちへのメッセージ、最後には社会に羽ばたく決意の言葉を話しました。式の終了後は、教室で最後のLHRが行われ、生徒たちも惜れ親しんだ教室と校舎に最後の別れを告げていました。



## ◆部活動～サッカー部～ 主将ひとこと…。

僕たちサッカー部は、顧問の新田先生の指導のもと、現在13名という少ない人数で活動しています。サッカーは11人で行う競技なので、部員がギリギリの状態です。

県新人戦では、1回戦で敗退してしまい、悔しい思いをしました。この悔しさを5月の高校総体で晴らすためにも、日々の練習や練習試合にも力を入れ、この技術やチームワークを高め、チーム全体のレベルを磨きあげて頑張っています。

サッカーが好きな人、興味のある人はぜひ入部しませんか？経験は問いません。ぜひ一度グラウンドに足を運んでください。

一緒に練習に励みましょう!!

サッカー部 主将 内田 航希  
(情報処理科1年・帖佐中出身)



## 《 4月の主な行事予定 》

- 4月 6日(月) 始業式
- 7日(火) 第68回 入学式
- 8日(水) LHR・対面式・課題考査
- 9日(木) 新入生オリエンテーション
- 10日(金) 部活動紹介
- 20日(月)～4月27日(月) 家庭訪問
- 28日(火) 第3回校内模試(3年)



鹿児島県立蒲生高等学校

〒899-5304

鹿児島県始良市蒲生町下久徳848番地2

TEL 0995-52-1155 / FAX 0995-52-1161

Web <http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/kamo/>